

週間漁海況情報—第1号

平成28年1月12日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suisan/> で公開され、原則として毎週火曜日夜間に更新します。

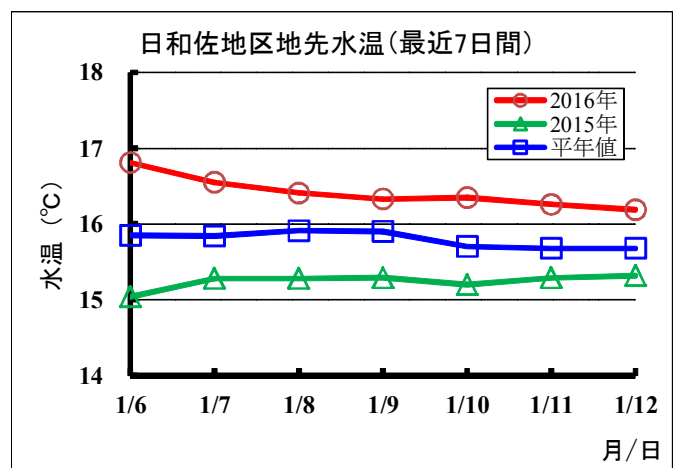
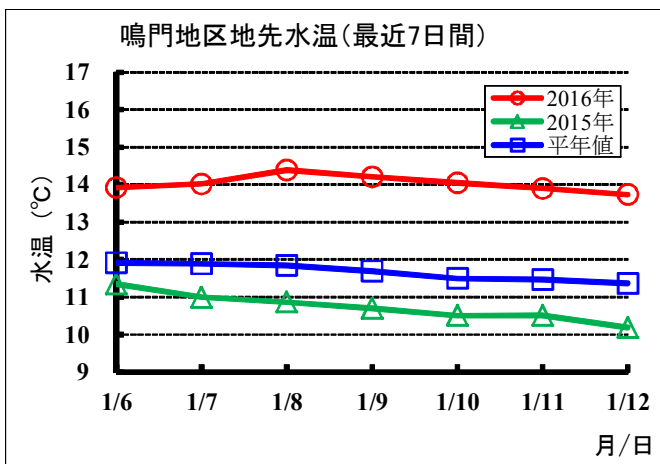
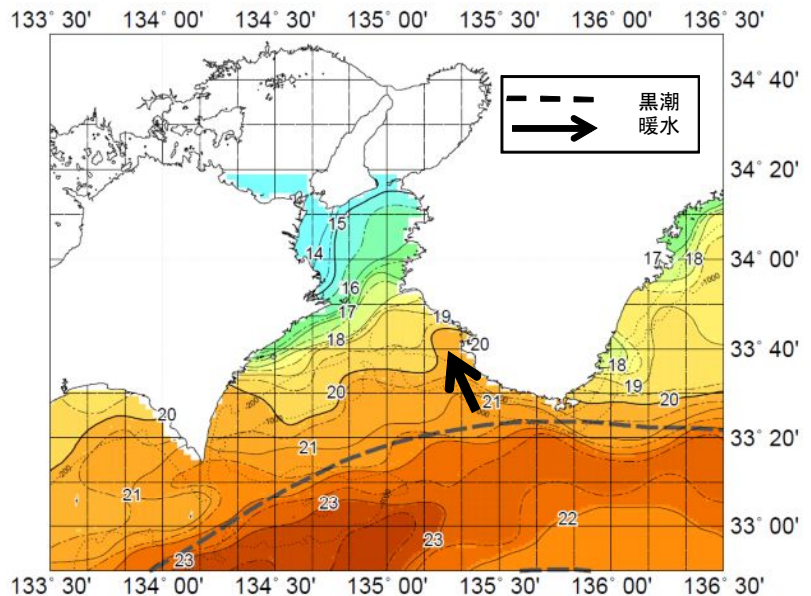
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H28.1.12）を示した。

黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は21～23℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で13℃台、紀伊水道で13～17℃台、海部沿岸では15～19℃台である。紀伊水道外域では、和歌山県側からの暖水流入が見られる。



地先水温：最近7日間の地先水温は、鳴門地区は「高め」～「かなり高め」の13.7～14.4℃、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の16.2～16.8℃、牟岐地区は「平年並み」～「やや高め」の15.6～16.5℃で推移した。

水温偏差の目安

平年並：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上
*平年値 鳴門地区：1981～2010年の平均値、日和佐地区：1982～2010年の平均値

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で大主体にキダイが0.5トン（1日1隻あたり13kg）、中主体にアカアマダイが0.3トン（同11kg）、大主体にシロサバフグが0.4トン（同31kg）、クロサバフグが0.4トン（同27kg）水揚げされた。

建網：海部沿岸でウスバハギが0.3トン（同22kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸でカタクチイワシが0.8トン（同58kg）、小主体にマアジが0.3トン（同13kg）、ヒラソウダが0.4トン（同15kg）、中主体にタチウオが0.2トン（同14kg）、アオリイカが0.3トン（同6kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で小主体にさば類が1.7トン（同237kg）、小主体にヒラソウダが0.4トン（同55kg）、マルソウダが12.9トン（同1,847kg）、ハマチが0.5トン（同67kg）、小小主体にタチウオが0.3トン（同36kg）、キントキダイが0.2トン（同32kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で大・中主体にタチウオが0.2トン（同17kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 2016年1月4日～2016年1月10日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	キダイ	35	462	13	大主体
		アカアマダイ	23	262	11	中主体
		シロサバフグ	14	438	31	大主体
		クロサバフグ	13	350	27	
建網		ウスバハギ	12	268	22	
小型定置網		カタクチイワシ	14	818	58	
		マアジ	23	298	13	小主体
		ヒラソウダ	26	396	15	
		タチウオ	17	240	14	中主体
		アオリイカ	59	325	6	
大型定置網		さば類	7	1,661	237	小主体
		ヒラソウダ	7	387	55	小主体
		マルソウダ	7	12,926	1,847	
		ハマチ	7	467	67	
		タチウオ	7	250	36	小小主体
		キントキダイ	7	226	32	
釣り	タチウオ	13	224	17	大・中主体	

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖において「接岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「高め」の13～12℃台、日和佐地先で「やや高め」～「平年並み」の16～15℃台で推移する見込み。